## 国際会議から　第9回鉄道車両の衝突安全に関する国際シンポジウム

鉄道車両の衝突安全に関する国際シンポジウムは，1999年の第1回以来，今回で第9回目となりました。本シンポジウムは，ドイツのベルリン工科大学主催でおおよそ2年に1度ベルリンで開催される鉄道の衝突安全を扱う専門性の高い会議です。

今回の発表件名は全17件で，15カ国から70名以上が参加しました。ドイツからの参加者が一番多く，アジアからの発表者は私を含めて2名でした。発表者の所属は鉄道事業者，鉄道事故調査機関，車両メーカー，車両部品メーカー，コンサル会社，研究機関と多岐に渡っていました。著者はロングシート乗客の衝突安全に関する発表を行いましたが，その他の発表内容は，事故調査による乗客の傷害リスクに関するもの，車体構造の剛性に関するもの，緩衝装置に関するもの，車内設備に関するもの，衝突安全基準に関するものと幅広く，この分野の情報を広く得ることができました。

発表中の様子

中井一馬
人間科学研究部
人間工学研究室
副主任研究員

次回は2015年に開催される予定ですので，引き続き参加し活発に情報交換をしていこうと思います。なお発表内容の一部は国土交通省の補助金を受けて実施しました。

ベルリン地下鉄内の袖仕切り（一部にガラス材が使用されていた）

正式名称：9th International Symposium “Passive Safety of Rail Vehicles”
開 催 国：ドイツ（ベルリン）
期　　間：2013/2/21－22
主　　催：ベルリン工科大学
開催頻度：隔年1回
次回開催予定：2015年2月　ドイツ